

1 第1回定例会  
ライブ中継について  
編集委員会より  
2～6 各会派代表質疑

# 市議会だより

令和5年5月号

〒583-8585 羽曳野市誉田 4-1-1

羽曳野市議会事務局 Tel.072-958-1111

羽曳野市ウェブサイトからもご覧いただけます。

## 令和5年第1回定例会報告

### 「市長の施政方針に対する各会派代表質疑」

#### 第1回定例会

令和5年第1回定例会は2月24日から3月30日までの35日間の会期で開催されました。今定例会では、令和5年度施政方針に対する5会派による代表質疑、8名の議員による一般質問が行われました。

また、専決処分の報告1件と、条例の一部改正、令和4年度一般会計・各特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の補正予算及び令和5年度当初予算、議員提出議案など40件の議案、その他、意見書案3件「アスベスト被害を抑える対策の強化を求める意見書」、「新型コロナウイルス感染症の後遺症に悩む方々の日常を守る取り組みの強化を求める意見書」、「認知症の人も家族も安心な社会の構築を求める意見書」、請願1件「下水道使用料値上げの中止に関する請願書」が上程され審議が行われました。今月号では代表質疑の内容を中心に報告し、一般質問、各常任委員会の審査報告、審議された案件の議決結果等は6月号に掲載いたします。

#### ●本会議のライブ中継について

市民の皆さまに市議会を身近に感じていただくため、本会議の様子をリアルタイムでご視聴いただけるライブ中継（生中継）を令和3年第1回定例会の最終日より開始いたしました。また、これまでの録画中継も市ウェブサイトより引き続きご覧いただけますので、ぜひご視聴ください。

#### ◆編集委員会より◆

令和5年第1回定例会が、3月30日に閉会しました。第1回定例会では、新型コロナウイルス関連をはじめ、市民の暮らしに関わる議案が上程され、本会議や各常任委員会で議論されました。昨年は、新型コロナウイルス感染症による、まん延防止等重点措置も全国で終了しましたが、次なるオミクロン株やインフルエンザに備えつつ、感染対策と行動制限等も行ってまいりました。併せてワクチン接種が進んだことにより、秋ごろから徐々に収束の兆しが見え、3月13日には、マスクの着用は個人の判断に委ねられることになりました。また、5月8日には、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが、5類に移行となります。不安もありつつ、これまでの生活に戻れることを願うばかりです。

今年の市民フェスティバルは、コロナ禍前よりも少し縮小したものとなる予定です。喜びと楽しさ、賑わいのあるフェスティバルを開催できることを期待いたします。新しい情報やお知らせは、市ウェブサイト等にて随時掲載されます。

また、本会議の様子は、ライブ中継や録画映像でも配信しておりますので、ぜひご視聴ください。

これからもわかりやすく、議会を身近に感じていただけるような紙面づくりに努めてまいります。ご意見等ございましたら、ぜひお寄せください。

#### 《市議会だより編集委員》

花川 雅昭 通堂 義弘  
大坪 正尚 南 玲  
黒川 実 竹本 真琴  
樽井佳代子

大坪正尚（大阪維新の会）



《恵我ノ荘駅前南側広場の暫定整備について》

●**質疑** 恵我ノ荘駅前南側広場の暫定整備の詳細とスケジュールは。

●**市長** 朝夕の通勤、通学、送迎車両による交通混雑の解消、駅利用者の安全性、利便性の確保を目的に、駅への送迎車両の乗降スペースを暫定整備するもの。令和5年度当初に一般競争入札を予定しており、暫定整備の完成時期は秋頃の予定。

《災害用備蓄物資の確保等について》

●**質疑** 備蓄物資の確保は、どれくらいの規模の災害を想定しているのか。

●**市長** 一番大きな被害が想定される災害は、上町断層帯地震Bが発生した場合で、最大震度7、避難所生活者数1万2,600人とされており、災害用物資については、この避難者数に対する数量を設定し、備蓄に取り組んでいる。

《公立認定こども園整備に係る基本設計、実施設計について》

●**質疑** 公立認定こども園の整備に係る基本設計、実施設計について、予定地など具体的な内容は。

●**市長** 現下開保育園隣接地を整備予定地とし、古市、駒ヶ谷、古市南の各幼稚園、下開保育園の4園を再編統合し、令和8年度の開園予定としている。

《学校と保護者の連絡ツールについて》

●**質疑** ICTを活用した学校と保護者をつなぐ連絡ツールの導入によってどのように変わるのか。

●**市長** これまで欠席連絡などは、連絡帳や電話で行っていたが、学校の対応可能時間を気にすることなく、いつでも連絡することができると、学校側にとっても、始業前の児童・生徒対応への時間の確保や業務の効率化が期待できる。

《学校プールの整備について》

●**質疑** 令和5年度以降におけるプールの改修、整備工事の予定と水泳授業の予定は。

●**市長** 令和5年度の水泳授業再開に向け、現在3校のプールサイド改修工事を実施している。菅田中学校については、令和6年度の授業再開に向け、実施設計を行っている。プールが使用不可の小学校5校については、近隣校へ徒歩やバスで移動し、プール施設の共同利用を図りながら、水泳授業を実施していく。

《支援教育体制の充実について》

●**質疑** 児童・生徒の一人一人が自分らしく学べる環境と、支援が必要な児童・生徒への体制の充実が重要だが、支援員の登用や教員への支援など、児童・生徒を支援するための体制づくりの具体的な取組は。

●**市長** 支援教育支援員による支援はもとより、支援教育助員をさらに3名増員。教員支援としては、令和5年度にティーチャーズトレーニングを視点とした研修等を予定している。

《学校規模適正化について》

●**質疑** 急速に少子化が進んでいく中で、学校規模の適正化や校区の再編等を考えていかなければならないが、

令和5年度はどういった取組をするのか。

●**市長** 教育委員会において教育改革審議会を立ち上げ、少子化による学校の規模の課題等について諮問する予定。今後教育委員会内、そして羽曳野市としての学校規模適正化に向けた基本的な方向性を検討していきたい。

《ふるさと納税の充実について》

●**質疑** 貴重な自主財源確保の役割としてのふるさと納税について、令和5年度の目標額と今後の展望は。

●**市長** 令和元年度は約1,700万円だったが、就任後にふるさと応援寄附推進チームを発足させ、返礼品の開発に注力。寄附額も令和2年度は約5,300万円、令和3年度は約1億4,000万円と大きく成果を上げ、令和5年度は、約2億4,900万円の寄附獲得を目標としている。自主財源確保のため、本市のプロモーションを強化していきたい。

《3市の現状課題の解決に向けて》

●**質疑** 当市の出生数は、この10年間で約38%減少している。現役世代だけでは高齢者を支え切れなくなっており、超少子・高齢化による危機が今まさに待ったなしの状況である。市長は当市の現状課題とこれからの未来予想図をどのように描いていくのか。また、次世代へ胸を張ってバトンを渡すことができるように努力し、改革を進めていくことが現代を生きる我々の責任であると考え、未来への責任について、市長の考えは。

●**市長** 人口減少や少子・高齢化の進展により、社会保障関連経費の増大、自然災害への備えや老朽化する公共施設等の更新が見込まれる一方で、生産年齢人口の減少が税収の減少をも

たらし、厳しい財政状況が続いていくことも予想される。このような課題をしっかりと受け止めた上で、現役世代の私たちが将来世代への必要な手立てを適切に講じていくことが非常に重要であり、「次世代を担う子どもたちへの積極的な投資」「市民誰もがいきいきと安心して暮らせる環境づくり」「戦略的なプロモーションによる地域の魅力向上と活性化」を推し進めていくことが必要であると考えている。安心して住みたい、住み続けたいと思うまちの実現こそが私に課せられた使命であり、その責任の重大さを深く自覚し、目指す未来へのかじを切り、市政運営を正しく導いてまいりたい。

●**要望** 我が国の超少子・高齢化の問題は、避けては通れない課題である。

一方で、世界の人口は80億人を突破し、右肩上がりが増加している。それぞれの自治体は、地域経済と税収の確保をグローバルな視点で考えていかなければならない。出生率の向上については、他市から移り住んでもこの羽曳野で子どもを産み、育てていきたいと思ってもらえる環境づくりと手厚い支援以外にない。令和5年度は、各分野においての計画を策定する事業が数多く含まれている。そうした各計画にも将来を見据えた市長の思いを乗せていただくことを要望する。令和5年度も我々大阪維新の会は、成長と改革によって財源を生み出し、未来への責任を果たしていくために政策を提案していく。市長には、羽曳野の今、そしてこれからの対し、責任を持ったビジョンを掲げ、邁進していただくことをお願いする。

黒川実

(自由民主党・もつと羽曳野議員団)



《未来を担う子どもの笑顔》より》

- 質疑** 乳幼児を連れた保護者が安心して外出できる環境づくりの推進とは。
- 市長** 本庁1階南玄関に続き、L1Cはびきの授乳室がリニューアル。子育てしやすい環境整備に努める。
- 要望** ベビーカーが使いにくい環境もあるため、今後考えてほしい。
- 質疑** 子どもの視点に立った基本的な権利を保障する取組とは。
- 市長** 育児支援と養育環境の整備などが基本理念として示されている。
- 要望** 育児支援と養育環境の整備を進めてほしい。

《快適でうるおいのある

住みよいまち》より》

- 質疑** 都市計画道路八尾富田林線羽曳野工区の整備と併せ、市道羽曳が丘西65号線のルートや交差点の設計で、地元との調整や要望など、進捗状況は。
- 市長** 数回、羽曳が丘地区と調整し、要望等も聞いている。交差形状や交差点位置について大阪府と協議が調った。今後羽曳が丘西7丁目からの市道の延伸部も含め速やかに大阪府警本部と協議を実施し、用地買収の準備を進める。
- 要望** 今後も地元の要望を聞き、早期着工に向けて事業を進めてほしい。
- 質疑** 「仮称」スケボーパークはびきの」を整備するとあるが、なぜ南阪奈道路高架下なのか、安全性はどうか、スケボー限定なのか。
- 市長** 広い土地が必要で、住民に騒音等の迷惑をかけないよう民家が隣接していないことを考慮し選定。高架下はネットフェンスで囲われ、信号交差点の近くで安全性は問題ないと考える。限定しているのは、気軽にできる場所を求める市民ニーズが増えているため。
- 要望** 側道は多数の大型車両が通行する危険な場所。また、子どもたちが来るには不便な場所。峰塚公園やコクセアム、市民プールの跡地を考えたかったのか。他市では多種多様な競技ができるよう整備されている。たくさんの方が利用できるよう考えてほしい。
- 地域がつながり**  
安全で「心安らぐまち》より》
- 質疑** 自主防災組織の活動を支援する補助金制度とは。
- 市長** 自治会や町会等を対象に、防災訓練や研修会、防災活動に必要な物品購入費用の2分の1を上限に補助。
- 要望** この補助金制度の周知を要望。規模によつて物品の購入が困難な自治会、町会にもよい補助金制度となるよう今後考えてほしい。
- ともに支え合い**  
健やかに暮らせるまち》より》
- 質疑** 医療機関・介護サービス事業者情報検索システムシステムの充実とは。
- 市長** 現在公開している羽曳野市医療機関・介護サービス事業者情報検索システムに地域密着型サービスの小規模多機能型居宅介護等や社会資源情報を追加する。
- 要望** インターネットを上手に使えない方もいるため、簡単に利用できる

るようになっていることを願います。

- 質疑** 人工呼吸器用発電機購入の一部助成とは。
- 市長** 在宅で人工呼吸器を使用している身体障害者手帳を持つ方等が、災害等による停電時に生命を維持できるように、羽曳野市日常生活用具給付事業実施規則を改正し、基準額10万円の範囲で、1割を自己負担とし、人工呼吸器用自家発電機等を追加するもの。
- 要望** 多くの方が利用できるよう周知をお願いする。
- 質疑** まちの保健室事業の実施とは。
- 市長** 医療、介護、福祉、健康づくりや暮らしの困り事等を専門職が相談会やミニ講座等を開催し、支援を行うもの。高年生がいきサロンにおいて月1回の開催を計画している。
- 未来に羽ばたく**  
子ども・若者を育むまち》より》
- 質疑** 学校給食費の無償化は考えていないのか。
- 市長** 多子世帯への給食費の助成事業などを実施しているが、何よりも中学校給食全員喫食の早期実現を進める。
- 要望** 中学生が2人いる家庭は、教材費等を合わせると結構な負担になる。無償化なら賛成だが、全額負担を考えるなら、保護者、生徒にアンケートを取ってほしい。保護者から給食がいいという声をよく聞くが、経済的に苦しいため、弁当がいいという声もあるし、ほとんどの子どもは弁当がいいと言っている。中学校給食を始めるのなら、様々な選択肢をお願いする。
- 質疑** はびきのこども夢プランの策定とは。
- 市長** 令和7年度からの第3期計画策定に向けて基礎調査を行い、保育

ニーズをはじめ子育て支援サービスの利用状況、利用意向、子育て世帯の生活実態などについてご意見を伺うもの。

- 要望** 市民の声を反映できるように取り組んでほしい。
- 質疑** 学校プール授業の再開は。
- 市長** 老朽化により使用できない学校は、徒歩やバスで移動し、市内近隣の学校プールを借りて実施する。
- 要望** 徒歩や送迎で授業の時間が少なくなる。プール授業は水難事故等がないよう、着衣水泳もある。当市は真摯に受け止め、全小・中学校でのプール授業の再開を強く要望する。
- 歴史・文化が息づく**  
心身ともに躍動するまち》より》
- 質疑** スポーツ施設長寿命化計画策定の概要は。
- 市長** 国より長寿命化計画の策定が求められ、本市のスポーツ施設も老朽化が進んでいることから、維持管理に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図る目的で策定するもの。
- 要望** 利用者の健康づくりやスポーツを通して思い入れがある場所であることを考慮して、今までどおり利用できるような計画を要望する。最後に、市長は様々な政策を打ち出しているが、夜間小児救急医療や近畿大病院の移転に伴う二次医療圏の問題等については一言もなく、子どもたちが安心・安全に暮らせ、子育て世代が不安なく子育てできる環境づくりと言ふなら、夜間小児救急医療が一番大切な課題で、施政方針で触れられていないのが残念でならない。大事な子どもの命を大切に思うなら、夜間小児救急医療の必要性を重点課題として今後考えることを強く要望する。

## 通堂義弘（公明党）



《未来を担う子どもの笑顔》より》

●**質疑** 多様化する子育てのニーズに沿った支援とあるが、どのような形で子どもの遊び場を確保するのか。子ども家庭総合支援拠点について、現状の相談状況と相談体制は。

●**市長** 高鷲北幼稚園跡地に気軽にボール遊びができる（仮称）鳥泉まちなか遊び広場を整備。また、子どもたちがスケートボードを楽しみ、雨天でも使用することが可能な（仮称）スケボーパークはびきのを新町南交差点西側の南阪奈道路高架下に整備する。

●**要望** 誰もが快適に移動しやすいように考慮し、障がいのある子もいない子も、年齢、性別や国籍などを問わず一緒に遊ぶことができるインクルーシブ公園の設置の検討を要望する。

《快適でつるおいのある

住みよいまち》より》

●**質疑** 西浦交差点の詳細設計の中で、歩道のバリアフリー化を予定しているのか。

●**市長** 車道の高さを上げ、フラット形式にすることで、歩道との段差を減らし、歩行者の安全性を確保するため、歩道のバリアフリー化も併せて行う。

●**要望** 羽曳野市全体を見て、歩道バリアフリー化対策、また踏切を安全に渡れる対策の検討を要望する。

《地域がつながり

安全で心安らぐまち》より》

●**質疑** 避難所の備蓄品の基準は。また自主防災組織の防災活動を支援する補助金の概要は。

●**市長** 災害用備蓄物資は、一番大きな被害における避難所生活者想定数1万2,600人に基づき数量を設定し、食料や毛布など重要物資11品目などを備蓄している。補助金制度については、自治会や町会等の皆様が取り組まれる防災活動や防災関係物品購入の一助となるよう、費用を補助するもの。

●**要望** 自主防災組織の充実を図るため、防災士の育成が必要。防災士資格の取得を奨励し、助成金の交付を要望。《ともに支え合い

健やかに暮らせるまち》より》

●**質疑** 特定健康診査の当市の受診率と、国保とく得健康応援事業の具体的な政策は。また在宅での人工呼吸器用発電機購入にかかる費用を一部助成することあるが、補助金額、申請方法は。

●**市長** 特定健康診査の直近の受診率は36.9%で、健診受診率の向上を目的に、国保とく得健康応援事業を実施する。特定健診を受診した皆様に1,000円程度のギフト券を、特定健診を受診したことがない方へは、受診の動機づけとして倍の2,000円程度のギフト券を配布する予定。人工呼吸器用発電機購入にかかる費用の一部助成については、基準額10万円の範囲で1割を自己負担とし、申請方法は、申請書に医師意見書及び見積書を添えての事前申請となる。

●**要望** 現在、物価が高騰しているため、在宅で人工呼吸器を使用されている方に対して、電気代の助成を要望。

《未来に羽ばたく

子ども・若者を育むまち》より》

●**質疑** 公立認定こども園の整備につ

いて、通園手段、加配保育士の配置は。

市内小・中学校の体育館へのエアコン

の設置状況及び設置予定は。

●**市長** 令和8年度に開園予定である第3の公立認定こども園については、古市、駒ヶ谷、古市南の各幼稚園、下開保育園の4園を再編、統合する。通園手段については、自家用車での送迎を希望される方も考えられ、混雑が生じないように周辺道路への影響にも配慮しながら、駐車スペースを確保するよう検討していく。加配保育士については、心理士が保育施設を巡回訪問し、保護者や保育士からの園児の発達相談を受け、助言を行うことも行っており、引き続き、園児に寄り添った保育環境を整えていきたい。体育館への空調設備設置工事について、令和4年度に中学校5校と小学校6校、合わせて11校の設置工事を実施。令和5年度は小学校7校と、はびきの植生学園の合計8校に空調設備を設置する。

●**要望** こども園への通園時、バスでの通園も視野に入れた検討を要望。障がいを持つお子さんが増加した場合、見合った加配保育士の配置を要望する。

《魅力発見 賑わいと

創造にあふれるまち》より》

●**質疑** ヤマトタケルを題材にした映画制作への支援について聞きたい。

●**市長** 羽曳野市の名前の由来となったヤマトタケルを題材とした作品を全国上映することで、市及び世界遺産の構成資産である白鳥陵古墳のPRにつながることを考え、協力するもの。

《歴史・文化が息づく

心身ともに躍動するまち》より》

●**質疑** 公共施設での無線LANの通信環境は、現在どこに設置されているのか。今後、L1Cはびきのや、はびきのコロシアムなどの公共施設において無線LANの整備予定はあるのか。

●**市長** 駒ヶ谷駅西側公園管理棟や道の駅しらとりの郷、文化財展示室など市内7か所の観光及び世界文化遺産関連施設に設置。大型の公共施設についてはアクセスポイント数や館内での配線の問題など、費用対効果の検証が必要だが、自治体DXの視点からも無線LAN整備の在り方を検討していく。

●**要望** L1Cはびきのやコロシアムなどの大型公共施設でノートパソコンを使って通信する方もいる。スマートフォンなどのように無線LANの利用可能な端末が急速に普及していることから、災害時でも効果的に情報を発信できる通信手段で、平時においては、観光関係情報の収集、教育での活用などにも貢献できるため、ぜひ、大型公共施設での無線LANの導入を要望。

《市民とともに築く

自立したまち》より》

●**質疑** 選挙人名簿照合システムとは、どういったものか。また、導入するメリットは。

●**市長** 選挙人名簿照合システムとは、投票所入場整理券に記載するバーコードの読み取りにより、素早く選挙人名簿の照合を行うことができるもの。

●**要望** 本市においては、期日前投票は、現在本庁とコロシアムの2か所だけだが、投票をしやすい、投票率を上げるためにも、期日前投票所の増設を要望する。

《心身ともに躍動するまち》より》

●**質疑** 公共施設での無線LANの通信環境は、現在どこに設置されているのか。今後、L1Cはびきのや、はびきのコロシアムなどの公共施設において無線LANの整備予定はあるのか。

●**市長** 駒ヶ谷駅西側公園管理棟や道の駅しらとりの郷、文化財展示室など市内7か所の観光及び世界文化遺産関連施設に設置。大型の公共施設についてはアクセスポイント数や館内での配線の問題など、費用対効果の検証が必要だが、自治体DXの視点からも無線LAN整備の在り方を検討していく。

●**要望** L1Cはびきのやコロシアムなどの大型公共施設でノートパソコンを使って通信する方もいる。スマートフォンなどのように無線LANの利用可能な端末が急速に普及していることから、災害時でも効果的に情報を発信できる通信手段で、平時においては、観光関係情報の収集、教育での活用などにも貢献できるため、ぜひ、大型公共施設での無線LANの導入を要望。

樽井佳代子（市民クラブ）



〈快適でつるおいのある  
住みよいまち21より〉

●質疑 大阪府が進める都市計画道路八尾富田林線羽曳野工区の整備と併せ、市道羽曳が丘西65号線のルート及び事業効果をどのように考えているのか。また、(仮称)スケボーパークはびきの整備、管理運営について聞きたい。

●市長 ルートについては、羽曳が丘西7丁目にある現道を西側に延伸し、八尾富田林線に接続。事業効果については、羽曳が丘地区周辺の道路ネットワークを新たに形成することで、南阪奈道路を介して、大阪外環状線等の広域幹線道路とのアクセス性が改善され、地区の渋滞解消につながると考える。(仮称)スケボーパークはびきの管理運営については、料金の徴収は行わず、管理は無人で、朝夕の施設のみを行う。広場の施設が原因でけがをされた場合、他の公園と同様に市が加入している保険が適用される。

●要望 大阪外環状線西浦交差点の慢性的な交通渋滞の解消は、長年の課題であり、ぜひ早急な実現に向けた取組を要望。また、八尾富田林線や南阪奈道路の沿道は、都市計画マスタープランで土地利用検討ゾーンに位置づけられ、立地ポテンシャルの高い地区であり、将来の土地利用の誘導に非常に期

待できる。八尾富田林線は、人や物資の円滑な移動を確保したり、災害時の物資の輸送や避難場所への避難路になるなど、様々な機能を有し、羽曳野市の発展に不可欠な幹線道路であると考え。引き続き実現に向け積極的な取組を要望する。(仮称)スケボーパークはびきのについては、このような若者にターゲットを絞った施策は、市外への若者の流出の抑制や地域の新しいにぎわい創出に期待できるものとする。引き続き検討を要望する。

〈地域がつながり  
安全で心安らぐまち21より〉

●質疑 24時間営業を行う市内コンビニエンスストアと連携し、自動体外式除細動器(AED)の設置を進める事業の概要と設置時期は。大阪府下で一番に設置した横断者注意喚起灯の令和5年度の設置予定は。

●市長 AEDの設置については、24時間営業の現在本市に展開する4事業者の26店舗を想定。スマートフォン等の電子機器を使い、これらのAED設置場所を探すことができるよう、電子マップの整理にも取り組む。令和5年度の横断者注意喚起灯の設置は、新たに3か所を予定している。

●要望 AEDの設置については、本年7月からの運用開始を目指し、24時間営業されている26店舗様への設置を想定と聞き、市民の皆様の不測の事態にも早急に対応できる施策に今後取り組むことを要望する。横断者注意喚起灯設置の拡大については、信号機のない横断歩道での歩行者の通行にも安全の確保が図れるため、さらなる拡充を要望する。

〈ともに支え合い  
健やかに暮らせるまち21より〉

●質疑 人工呼吸器用充電機購入にかかる費用の一部助成について、具体的な内容と申請方法は。

●市長 在宅で人工呼吸器を使用している身体障害者手帳を持つ人や在宅で人工呼吸器を使用している難病患者が災害等による停電時においても生命を維持することができるよう、羽曳野市日常生活用具給付事業実施規則を改正し、令和5年4月より基準額10万円の範囲で、1割を自己負担とし、申請方法は、申請書に医師意見書及び見積書を添えての事前申請となる。

●要望 在宅で人工呼吸器を使用しておられる方たちにとっては、いつ起こるか分からない災害による停電時に備え、自身の命を守り、生命を維持する大切な人工呼吸器用充電機。引き続き国、府に対して財政措置を要求し、さらなる施策の展開を強く要望する。

〈魅力発見 賑わいと  
創造にあふれるまち21より〉

●質疑 観光客に満喫していただくためには、宿泊施設が必要だと考えるが、市長の考えは。世界遺産と日本遺産に面した旧浅野家住宅について、現在の整備の方向性は。

●市長 市内に宿泊施設があれば、滞在型観光として高い経済効果をもたらすという事は認識している。旧浅野家住宅の整備については、世界遺産や日本遺産に面した立地を最大限生かした観光・交流拠点として整備していく。西側の広く開けた敷地については、来訪者の休憩や地域の交流の場として活用していただ

備する計画。令和7年度中の供用開始を目指している。

●要望 当市は、自然と緑の豊かな歴史と文化に育まれた潤いと魅力のある町だが、今までは観光産業が皆無であったために、宿泊施設などはなかった。このたびの大阪はびきの観光局設立に伴い、市長の考えの中での民間の活力とアイデアを最大限に生かし、誰もが楽しめる観光地の整備に取り組むよう強く要望する。旧浅野家住宅については、2025年大阪・関西万博を見据え、大阪はびきの観光局と連携して取り組み、旧浅野家住宅が本市の観光誘客の拠点となることを願う。

〈市民とともに築く  
自立したまち21より〉

●質疑 新庁舎建設に係るシンポジウムにおいて、市民の皆様からの意見等は。

●市長 防災拠点や市民サービスの向上、物価高騰による事業費の精査の必要性、歴史資産との調和や観光資源の活用等に関するご意見、ご提案などをいただいた。今後は、これらを参考に新庁舎整備に向けた基本計画を着実に進める。

●要望 市民の皆様にとって、新庁舎整備は最も関心の高い事業だと思つ。市民の皆様からの貴重なご意見やご提案等も取り入れ、近隣自治体にな

ような新庁舎整備に向けた基本計画を着実に進めることを強く要望する。

《その他の質疑》  
●令和8年度に開園予定の公立認定こども園整備について  
●小児発達の専門医による診察・相談について  
●市民体育館及び屋外テニスコートについて

